

緑萌

地域連携型の農業生産法人

活動背景・目的

農地貸借による集積で作付体系を団地化。作業効率向上、農地荒廃や遊休農地の発生防止、農家所得の向上を図る体制を構築。

平成 12 年に留萌市農作業受託生産組合を設立し、栽培管理の作業受託に取り組みました。その後、農地貸借の希望が多くなり、地域の課題解決のため、平成 16 年 4 月に有限会社緑萌を設立しました。

活動内容

【作付面積】（平成 25 年 3 月現在）

○農地貸借契約は水田等 199ha、そば等の作業受託面積は 46ha であり、約 245ha の作付を行っています。これは留萌市の約 30%に相当する面積です。

【農作業の効率化】

- 圃場区画の大規模化（小さな水田を合筆、1 区画当たり平均面積：1.3ha 以上）により大型農機具の導入が可能となり、作業効率を改善しました。
- そば、大豆等是不耕起農法（トラクターの運転回数を削減）を導入。作業効率の改善を図り、作業工程の見直しを併せて、労働時間の削減、燃料費の節減に繋がり、エコな農業を実現しました。
- 水稻作付面積 85ha（WC S 含む）分の水稻育苗ハウスを集約することにより、育苗管理作業の効率化を図りました。

【地域農業の発展】

- 街場の青年など地域の若い世代を雇用（季節雇用）し、農作業への積極的な参加をうながすことにより、地域農業の発展に貢献しています。

今後の展望・課題など

- 作業効率のさらなる改善と農業後継者の育成強化のため、常時雇用者を増員することで地域農業のさらなる活性化を目指す。また、収益性のある作物の導入などを視野に入れた作付け計画を策定する予定。
- 留萌市では、50 歳未満の農業者数が少なく、賃貸借、受託作業に対応できる体制作りが必要。しかし、受け入れ窓口の整備が行われなければ難しい。

活動分類

■農業振興・地域振興

代表者：滝本 稔

連絡先：（有限会社 緑萌）

〒073-3168

留萌市大字留萌村字幌糠町 1954 番地
（るもい農業協同組合幌糠事業所内）

TEL：0164-46-1211

活動地区：留萌市



▲不耕起農法による農作業



▲合筆を行った水田

（圃場1区画当たり平均面積は 1.3ha 以上）